

愛知県で採集されたオイカワとカワムツの交雑個体

荒尾一樹*・下山淳二*, **

Hybrids between *Zacco platypus* and *Z. temminckii* from Aichi Prefecture, Japan

Kazuki Arao* and Junji Shimoyama*, **

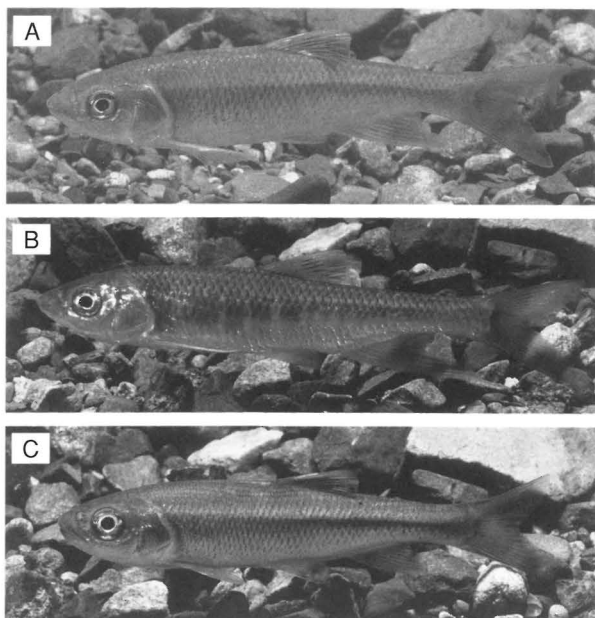
従来、コイ科 (Cyprinidae) のオイカワ属 (*Zacco*) 魚類は日本にオイカワ *Zacco platypus* とカワムツ *Z. temminckii* の2種が分布すると考えられてきた。その後、カワムツには2型が存在することが判明し、それぞれカワムツA型 *Z. sp.* とカワムツB型 *Z. temminckii* に区別して扱われてきた (片野, 1989; 細谷, 1993 など)。近年, Hosoya et al. (2003) によりカワムツA型はヌマムツ *Z. sieboldii*, カワムツB型はカワムツ *Z. temminckii* として再記載された。

カワムツとヌマムツが同所的に分布している水系でもカワムツとヌマムツの交雑個体は認められないことが報告されている (Okazaki et al., 1991)。しかし、オイカワとカワムツの交雑個体は吉郷 (2000) により、オイカワとヌマムツの交雑個体は酒井ほか (1992) と安芸 (2004) により報告されている。今回、筆者らも愛知県でオイカワとカワムツの交雑個体と考えられる標本を得たので、追加記録として報告する。

交雑個体が採集された御津川は、愛知県宝飯郡御津町を流れる延長約4.3kmの二級河川である。採集地周辺の河川形態はBb型で、周囲には住宅地や水田がみられた。淵尻から平瀬にかけての砂礫底上をオイカワとカワムツとともに群泳していたところを採集された。標本は、豊橋市自然史博物館魚類資料 (TMNH-F) として登録・保管した。

オイカワとカワムツの交雑個体

Zacco platypus × *Z. temminckii*



第1図. 採集されたオイカワ属魚類。

A: オイカワとカワムツの交雑個体 (TMNH-F120)
B: オイカワ (TMNH-F121)
C: カワムツ (TMNH-F122)

(標本)

TMNH-F120, 2個体, 体長83.4, 90.3mm (第1図-A)。

(比較標本)

オイカワ: TMNH-F121, 2個体, 体長79.4, 85.7mm (第1図-B)。

カワムツ: TMNH-F122, 2個体, 体長63.6, 71.4mm (第1図-C)。

* 株式会社環境科学研究所. Environmental Science Laboratory Co., Ltd., 152 Wakazuru-cho, Kita-ku, Nagoya 462-0006, Japan.

** 現所属: 岐阜市役所. Gifu City Hall, 1-11 Kanda-machi, Gifu 500-8721, Japan.

原稿受付 2005年12月28日. Manuscript received Dec. 28, 2005.

原稿受理 2006年1月18日. Manuscript accepted Jan. 18, 2006.

キーワード: 交雑個体, オイカワ, カワムツ, 愛知県.

Key words: Hybrids, *Zacco platypus*, *Z. temminckii*, Aichi Prefecture.

全て2004年10月、愛知県宝飯郡御津町御津川、投網（目合12mm）、荒尾一樹・下山淳二採集。

オイカワの体側には不規則な青色横帯があり、カワムツとヌマムツの体側には1本の暗青色縦帯がある。今回採集された交雑個体の体側の縦帯は、カワムツとヌマムツの縦帯よりも淡く不明瞭で、オイカワの横帯と中間的な特徴を示した。交雑個体の胸鰭と腹鰭の前縁は薄黄色であり、カワムツと一致し、桃色であるヌマムツと異なった。側線鱗数は48以下であり、オイカワと一致し、53以上であるヌマムツと異なった。臀鰭分岐軟条数は9であり、オイカワとヌマムツと一致し、10であるカワムツと異なった。以上の特徴と、同所でヌマムツが採集されていないことから、オイカワとカワムツの雑種個体であると考えられる。

近年の河川改修の多くは、川床を浅く平坦に広げ、比較的流れのゆるやかな水域をつくる結果になっているため、オイカワの生息に適することが多い。この河川環境の変化が大きく影響して、オイカワが分布を拡大しつつあると考えられている（森・名越，1989）。河川改修などによる河川環境の変化が、交雑個体の出現要因のひとつである可能性も考えられる。

末筆ながら、文献情報などを提供していただいた中外テクノス株式会社の吉郷英範氏に謝意を表す。

引用文献

- 安芸昌彦，2004. 栗林公園の淡水魚類. 香川生物，(31) : 13-22.
- 細谷和海，1993. コイ科. 中坊徹次（編），日本産魚類検索—全種の同定—，東海大学出版会，東京，212-230，1258-1260.
- Hosoya, K., Ashiwa, H., Watanabe, M., Mizuguchi, K. and Okazaki, T., 2003. *Zacco sieboldii*, a species distinct from *Zacco temminckii* (Cyprinidae). *Ichthyol. Res.*, **50** (1) : 1-8.
- 片野 修，1989. カワムツ. 川那部浩哉・水野信彦（編），山溪カラー名鑑 日本の淡水魚，山と溪谷社，東京，239-243.
- 森 誠一・名越 誠，1989. オイカワ. 川那部浩哉・水野信彦（編），山溪カラー名鑑 日本の淡水魚，山と溪谷社，東京，244-249.
- Okazaki, T., Watanabe, M., Mizuguchi, K. and Hosoya, K., 1991. Genetic Differentiation between Two Types of Dark Chub, *Zacco temminckii*, in Japan. *Japan. J. Ichthyol.*, **38** (2) : 133-140.
- 酒井治己・永田昭広・藤岡 豊，1992. 山口県におけるオイカワ属魚類の分布と雑種の出現. 水産大学校研究報告，**40** (2) : 75-82.
- 吉郷英範，2000. 広島県下におけるオイカワ属の雑種個体の記録とカワムツA型の分布（予報）. 比婆科学，(194) : 1-8.